

2011-B					
拠出金・基金の名称:		中西部太平洋まぐろ類委員会拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 中西部太平洋まぐろ類委員会 (WCPFC)					
【所管官庁担当局課・室名】: 農林水産省大臣官房国際部国際協力課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 WCPFCに拠出し、太平洋島嶼国(特に主要漁場が集中するナウル協定加盟国)における操業隻日数管理、地域オブザーバー計画等の漁業管理措置の確実な実施のための、人材育成や制度の改善等を行うことにより、措置の円滑・確実な実施を支援することを目的とする。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成23年度	38,124	428	-	1米ドル= 89円	100
平成22年度	39,912	425	-	1米ドル= 94円	100
平成21年度	43,733	425	-	1米ドル = 103円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 WCPFCは、中西部太平洋のマグロ・カツオ類の資源管理を目的とした地域漁業管理機関。我が国漁船は、同条約水域でマグロ・カツオ類総漁獲量の約8割を漁獲しており、我が国漁業者にとり重要な漁場。近年、効果的な資源管理の導入が急務となっており、WCPFCの果たす役割は重要であると評価。 WCPFCにおいては、拘束力を有する措置を含む保存管理措置等が導入されており、我が国としても、科学的根拠に基づく措置を支持する立場にある。また、主要漁場の多くが島嶼国の水域に位置していることから、我が国を含む加盟国等が拠出金を提供し、これら島嶼国の漁業管理能力の向上を通じ、我が国へのマグロ類資源の持続的で安定的な供給の確保に努めることとする。					